

久光製薬は脱炭素社会の実現のため「日本製薬団体連合会の低炭素社会実行計画」に参画し、CO₂排出量削減目標を2021年12月に見直しを行い2030年度までに2013年度比で46%削減、2050年度までに実質ゼロを目指す。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2025年9月～2027年2月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

九州本社工場の炭素生産性を15.58%以上向上させる。

3. 前向きな取組みの内容

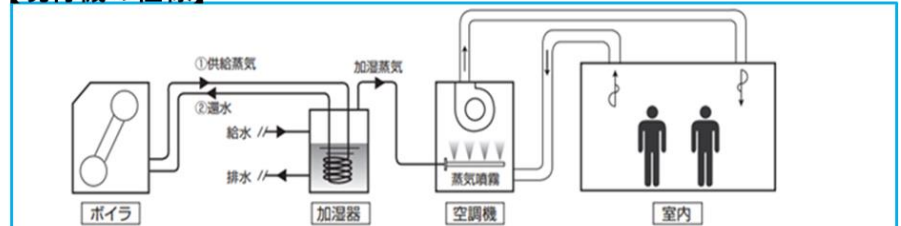
- 2025年9月に、九州本社工場の空調機を3台更新し、蒸気レス化(ヒートポンプ)及び夜間運転モードの導入。電力及び燃料の削減により、エネルギーコスト及びCO₂削減を図る。
- その他、税額控除対象外の設備更新により、エネルギーコスト及びCO₂削減を図る。

4. 支援措置

税制措置 (カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

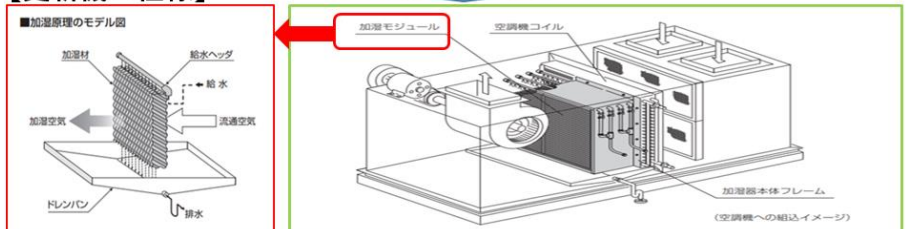
<取組みの内容のイメージ>

【現行機の仕様】



ボイラなどからの供給蒸気（一次蒸気）により加湿器加熱タンク内の水を加熱し、間接的に加湿蒸気（二次蒸気）を発生させる 暖房も蒸気を使用

【更新機の仕様】



内部のファンを回し、水を含んだフィルターに風を当てることで水を蒸発させます。暖房はチャラーを使用